

【エバスチン錠 10mg 「ケミファ」】  
安定性に関する資料  
(無包装安定性試験)

日本ケミファ株式会社

●目的

エバスチン錠 10mg「ケミファ」の無包装状態での安定性を確認するため、試験を実施した。

●保存条件

- ①温度：40℃、褐色ガラス瓶（気密）、3 ヶ月
- ②湿度：25℃、75%RH、シャーレ開放、3 ヶ月
- ③光：2500Lux、25℃、45%RH、シャーレ開放、120 万 Lux・hr

●試験項目

性状、純度試験、溶出性、定量、硬度

●結果

①温度

(n=3、硬度 n=5、溶出性 n=1×6 ベッセル)

試験項目	規格		開始時	1 ヶ月	2 ヶ月	3 ヶ月
性状	白色の割線入りのフィルムコーティング錠		白色の割線入りのフィルムコーティング錠	変化なし	変化なし	変化なし
純度試験(%)	相対保持時間 約 0.33	0.4%以下	0.05	0.13	0.14	0.19
	上記以外の最大	0.2%以下	0.07	0.12	0.1	0.14
	合計	0.7%以下	0.28	0.37	0.39	0.45
溶出性(%)	平均値	30 分	90.2	85.1	87.9	84.6
	最小値	75%以上	88.2	82.2	84.6	82.6
定量(%)	95.0～105.0%		102.06	101.76	97.45	100.16
硬度(N)	— (参考値)		104	96	99	97

②湿度

(n=3、硬度 n=5、溶出性 n=1×6 ベッセル)

試験項目	規格		開始時	1 ヶ月	2 ヶ月	3 ヶ月
性状	白色の割線入りのフィルムコーティング錠		白色の割線入りのフィルムコーティング錠	変化なし	変化なし	変化なし
純度試験(%)	相対保持時間 約 0.33	0.4%以下	0.05	0.10	0.09	0.11
	上記以外の最大	0.2%以下	0.07	0.12	0.10	0.10
	合計	0.7%以下	0.28	0.38	0.34	0.36
溶出性(%)	平均値	30 分	90.2	87.7	84.0	85.8
	最小値	75%以上	88.2	86.2	82.0	84.1
定量(%)	95.0～105.0%		102.06	101.48	101.52	100.26
硬度(N)	— (参考値)		104	70	67	74

## ③光

(n=3、硬度 n=5、溶出性 n=1×6 ベッセル)

試験項目	規格		開始時	30 万 lux・hr	60 万 lux・hr	120 万 lux・hr
性状	白色の割線入りの フィルムコーティング錠		白色の割線入りの フィルムコーティング錠	変化なし	変化なし	変化なし
純度試験(%)	相対保持時間 約 0.33	0.4%以下	0.05	0.14	0.17	0.27
	上記以外の最大	0.2%以下	0.07	0.65	1.16	1.98
	合計	0.7%以下	0.28	1.49	2.10	4.50
溶出性(%)	平均値	30 分	90.2	88.5	88.5	92.0
	最小値	75%以上	88.2	86.9	86.3	88.9
定量(%)	95.0~105.0%		102.06	101.11	99.35	97.70
硬度(N)	— (参考値)		104	91	82	75

## ●結論

## ①温度：40℃（気密）

3 ヶ月経過時点で僅かな類縁物質の増加を認めた。その他の試験項目に際立った変化は認められなかった。

## ②湿度：25℃，75%RH

若干の溶出率の低下及び僅かな硬度の低下が認められたが、その他の試験項目に際立った変化は認められなかった。

## ③光：2500Lux，25℃，45%RH

30 万 Lux・hr より相対保持時間約 0.25，0.85，1.17 のピークが増加し、相対保持時間約 0.33 以外のピークの最大及びそれらの合計のピークで規格値を超えた。類縁物質の増加に伴い、含量が低値を示したが、いずれも設定規格の範囲内であった。その他の試験項目は試験開始時と比較してほとんど差は認められなかった。

株式会社ダイト：無包装安定性に関する資料（社内資料）

2012 年 8 月